Y613-90020-06 Rev.A

コレガの無線コンバータを Windows Vista™でお使いになるには

Windows Vista™ でコレガの無線コンバータをお使いになりたい場合は、次の手順で設定してください。無線コンバータの設定には設定用にパソコンが 1 台必要となります。

- 本ソフトウェアはWindows Vista™がプリインストールされたパソコンのみ動作を確認しています。
- 本書では Windows Vista™ Home Premium を例に説明しています。お使いの環境によって表示される画面が異なる場合があります。
- 本書の手順を行う場合は、管理者（Administrator）権限でパソコンにログインしてください。
- Windows Vista™の環境でお使いになる場合は、必ず本書の手順で設定してください。付属のCD-ROM はお使いにならないでください。
- Windows Vista™ 対応製品に関する最新情報は、コレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

お使いのネットワーク環境を調べる

無線コンバータの設定をする前に、お使いのネットワークの環境を調べます。次の手順は必ずルータにパソコンを接続し、インターネットに接続できる状態で行ってください。

1 ［スタート］－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順に選択します。

2 キーボードから「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥Users¥corega>ipconfig
```

「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します

3 「デフォルトゲートウェイ」に記載されている IP アドレスをメモし、画面を閉じます。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

  接続固有の DNS サフィックス . . . :
  IPv6 アドレス . . . . . . . . . . . : 2001:c90:131c:1001:b592:5d17:e553:45de
  一時 IPv6 アドレス. . . . . . . . . : 2001:c90:131c:1001:6416:638e:82d9:d50a
  リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b592:5d17:e553:45de%8
  IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.1.21
  サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.0.0
  デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe80::2d0:2bff:fe30:a91b%8
                                      192.168.1.1
```

この値をメモします

デフォルトゲートウェイを確認することで使用しているネットワーク環境がわかります。IPアドレスはデフォルトゲートウェイに 3 区切り目まで（画面例では「192.168.1.1」）あわせる必要があるため、4 区切り目（画面例では「192.168.1.1」）が変更可能な値となります。

設定画面を表示する

1 無線コンバータと設定用パソコンを LAN ケーブルで接続します。

無線コンバータの接続についての詳しい説明は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

- CG-WLCVRG → 「本製品を設定用パソコンを接続しよう」（P.16）
- CG-WLCVR54AG2 → 「本製品と設定用パソコンを接続する」（P.13）

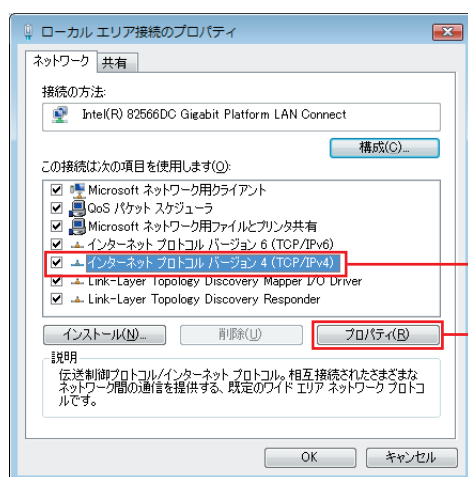
2 「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

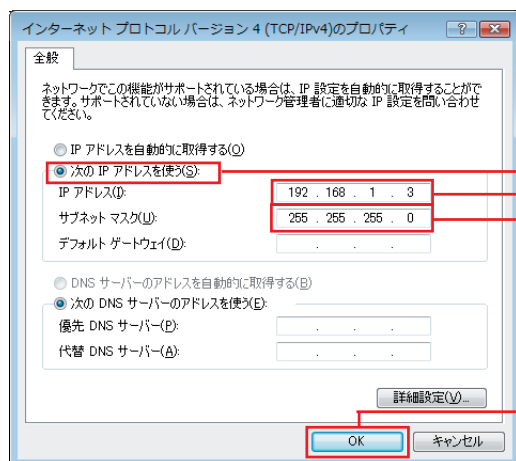
> メモ
> 「ネットワークとインターネット」が表示されていない場合は、「ネットワークと共有センター」をダブルクリックして手順3へお進みください。

3 画面左側から「ネットワーク接続」の管理をクリックします。

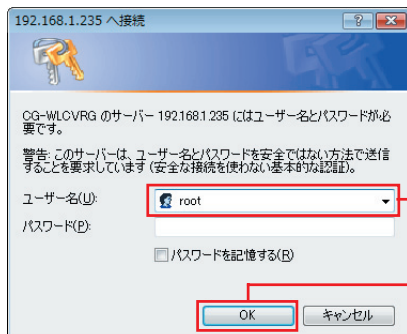
4 「ローカル エリア接続」を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

5 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、［続行］をクリックします。

6 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

> 注意
> 「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けてください。

7 次のようにIPアドレスを変更し、［OK］をクリックします。

> 注意
> お使いの環境の中で、「192.168.1.3」を使用している機器がある場合は、「192.168.1.235」（無線コンバータのIPアドレス）を除く「192.168.1.1」から「192.168.1.254」のいずれかに設定してください。また、弊社のルータをお使いの場合は、「192.168.1.1」（ルータのIPアドレス値）を②に入力しないでください。

8 Internet Explorer を起動し、アドレス欄に「192.168.1.235」を入力し、Enter キーを押します。

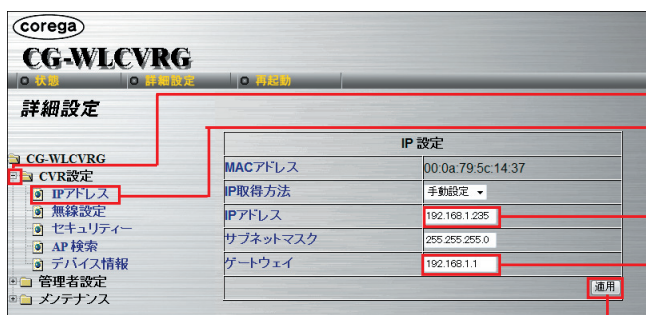
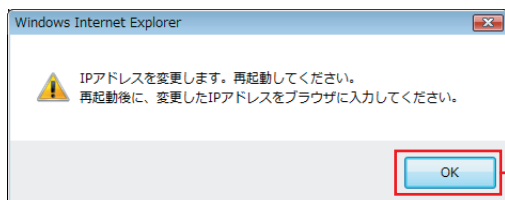
9 ログイン画面が表示されますのでユーザー名に「root」と入力し、パスワードは空欄のまま［OK］をクリックします。

10 無線コンバータの設定画面が表示されます。

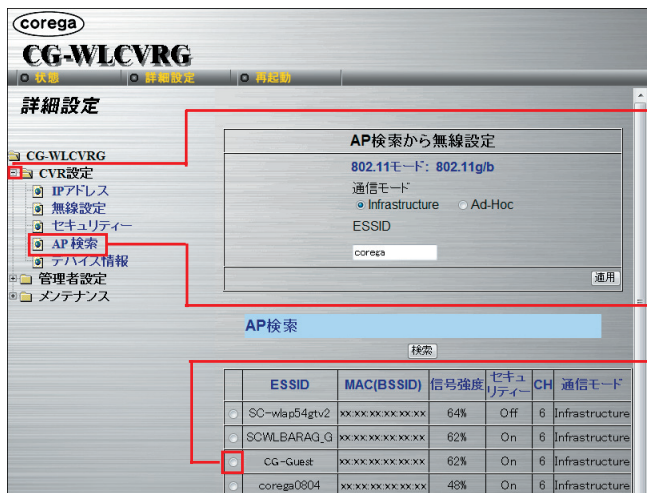
無線コンバータの設定をする

次からの手順は CG-WLCVRG を例に説明していますが、CG-WLCVR54AG2 でも手順は同じです。

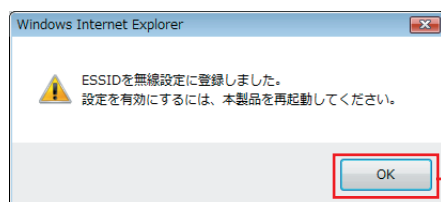
1 「詳細設定」をクリックします。

お使いの環境で「お使いのネットワーク環境を調べる」手順 3 でメモしたデフォルトゲートウェイが「192.168.1.1」以外の場合は手順 2 へお進みください。その他の場合は手順 4 へお進みください。

2 画面左側のメニュー「CVR 設定」の「×」をクリックし、「IP アドレス」をクリックしてお使いの環境にあわせて IP アドレスを変更します。変更した IP アドレスは<u>必ずメモしてください</u>。

<例 1 >デフォルトゲートウェイが「**192.168.0.1**」の場合は、③に「**192.168.0.xxx**」を入力します。
<例 2 >デフォルトゲートウェイが「**192.168.11.1**」の場合は、③に「**192.168.11.xxx**」を入力します。
※「**xxx**」には他のネットワーク機器で使用していない「**1 ～ 254**」までの値を割り当てます。

3 次の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

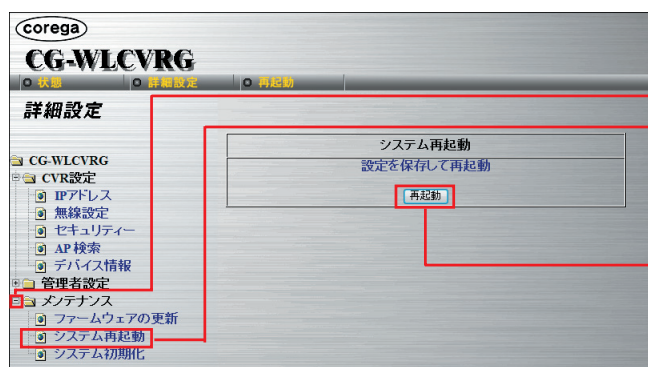
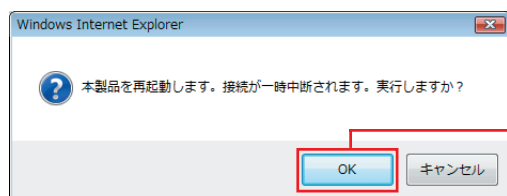
4 「CVR 設定」の「×」－「AP 検索」－［検索］の順にクリックし、表示されたリストの中から接続したいアクセスポイントを選択します。

メモ　アクセスポイントはお使いの機器の MAC アドレスや ESSID（SSID、ネットワーク名）を手がかりにリストから探してください。MACアドレスやESSIDはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

5 次の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

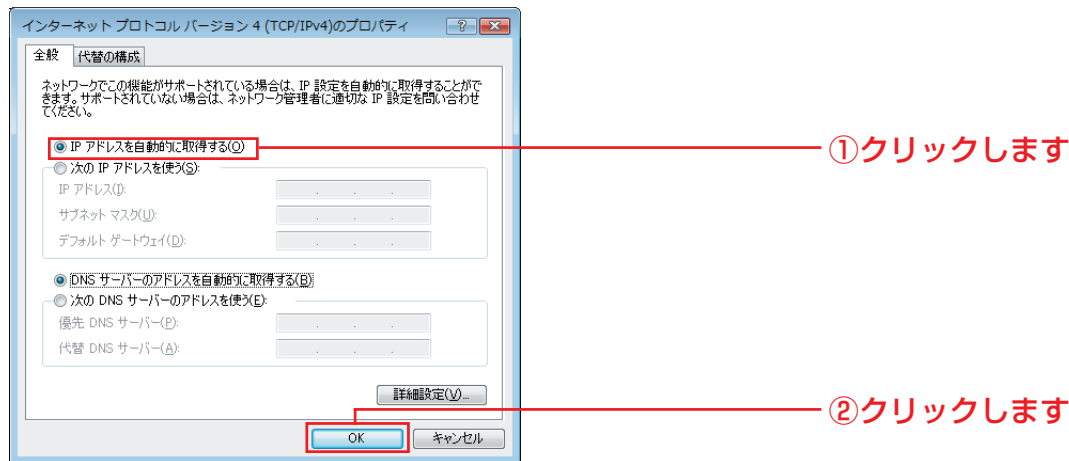
6 ［適用］をクリックします。

7 次の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

8 無線セキュリティを設定している場合は、「セキュリティー」をクリックしてアクセスポイントと同じ無線セキュリティ設定をします。

> 本書で説明している例は、接続先のアクセスポイントがWEP/Shared Keyで設定されている場合です。その他の無線セキュリティが設定されている場合は、お使いの無線コンバータの取扱説明書をご覧になり、アクセスポイントと同じ無線セキュリティ設定をしてください。
> ● CG-WLCVRG → 「●セキュリティー」(P.27)
> ● CG-WLCVR54AG2 → 「●セキュリティ」(P.27)

9 「メンテナンス」の「×」－「システム再起動」の順にクリックし、[再起動] をクリックします。

10 次の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

11 再起動が完了したら、設定画面を閉じます。

12「設定画面を表示する」の手順２～６をご覧になり、「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」画面を表示します。

13「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックし、［OK］をクリックします。

14 Internet Explorer を起動し、インターネットに接続して設定が正しく行われたことを確認します。

インターネットの接続に失敗した場合は次のことを確認してください。

- **無線コンバータのIPアドレスが他のネットワーク機器と重複している可能性があります。「無線コンバータの設定をする」手順2をご覧になり、無線コンバータのIPアドレスを変更してください。**
- **無線セキュリティを設定している場合は、設定を誤っている可能性があります。手順8をご覧になり、もう一度設定し直してください。**

手順で無線コンバータのIPアドレスを変更した場合は、設定画面を表示する手順が変更されます。Internet Explorerのアドレス欄には変更したIPアドレスの値を入力し、Enterキーを押してください。

以上で設定は完了です。
無線コンバータをネットワーク対応の AV 機器など、接続したい機器に接続し直してお使いください。

2007 年７月　初版